

学校等との協定による森林環境教育の取組や広く国民から意見を集める取組など、国民の森林としての管理経営を推進しました。

国有林野事業への理解と支援に向けた多様な情報発信

- 国有林野事業の実施に係る情報発信や森林環境教育の活動支援等を通じたサービスを提供
- 「国有林モニター」会議の開催や、「地域管理経営計画」の策定等に当たって地元懇談会を行うなど、広く国民の意見を集め、情報発信による対話型の取組を推進

事例⑭ 国有林モニター制度を通じた情報発信

近畿中国森林管理局では、一般から公募する国有林モニターの皆様
にパンフレット配布や現地見学を通じて森林管理局の活動を知ってもらった上で、国有林野事業に対する意見の聴取に取り組んでいます。令和元年度の意見交換では、「森林環境教育に地域によって格差があるように感じる」「森林環境教育についてもっとPRしていくべき」等のご意見をいただきました。今後、国有林野事業に対する理解に向けて、ホームページの充実等に取り組んでいくこととしています。



風倒被害木処理現場の見学の様子



モニター会議の様子

森林環境教育の推進

- 学校等と森林管理署等が協定を結び、様々な自然体験や自然学習を進める「遊々の森」の設定・活用など、森林環境教育に係るプログラムの整備やフィールドの提供等を積極的に推進

事例⑮ 遊々の森協定に基づく清掃活動

北海道森林管理局檜山森林管理署では、地元の江差北小学校と「遊々の森」協定を締結し、平成15年以降、砂坂海岸林において森林教室や清掃活動等を行ってきました。

令和元年度、森林管理署職員指導の下、小中学生と教員合計139名で砂坂海岸林と接する海岸において清掃活動を行いました。



清掃活動の様子



砂坂海岸林の様子

令和元年度は森林環境教育を

1,939回実施 延べ約10万5千人参加

地域の企業やボランティア団体等との協定等による国民参加の森林づくりを推進しました。

森林の整備・保全等への国民参加

- 自ら森林づくりを行いたい、次代に引き継ぐべき木の文化を守りたいという国民の要望に応えるため、ボランティア団体等と森林管理署等が協定を締結
- 国有林野をフィールドとして森林づくり活動を進める「ふれあいの森」や「社会貢献の森」、「木の文化を支える森」等を設定するとともに、技術指導等の支援を行い、国民参加の森林づくりを推進

事例⑩ 地域の自然、歴史を学べる銚子ジオパークの森

関東森林管理局千葉森林管理事務所では、令和元年7月に銚子ジオパーク推進協議会と「多様な活動の森」の協定を締結し、銚子ジオパークの森を自然、歴史、文化等を学ぶ場として活用しています。令和元年度は林内清掃等を実施しました。



銚子ジオパークの森の様子

国民参加の森林づくりの協定締結状況

種類	箇所数	面積(ha)
ふれあいの森	131	4,290
社会貢献の森	180	3,083
木の文化を支える森	24	1,637
遊々の森	154	6,340
多様な活動の森	78	3,787
モデルプロジェクトの森	15	10,374

注：令和2年3月末現在の数値である。

事例⑰ 地域の植樹活動への国有林野の提供

東北森林管理局宮城北部森林管理署では、みやぎ生活協同組合が行う森林づくり活動に対して、分収林契約に基づき国有林野の提供を行っています。令和元年度は、契約地において関係者による植樹活動が行われ、ホオノキやイタヤカエデなどの苗木が植栽されました。



植樹活動の様子

分収林の現況面積

(単位：ha)

	令和元年度	(参考) 平成30年度
分収造林	102,234	105,716
うち 法人の森林	(295) 1,011	(292) 1,006
分収育林	12,002	12,842
うち 法人の森林	(177) 1,328	(179) 1,333

注：各年度期末の数値である。
() 内は箇所数を表す

国有林野の維持・保存に向けて、森林の巡視や森林病虫害の防除、鳥獣被害の防除等を実施しました。

森林の巡視、森林病虫害の防除等

- 登山利用による来訪者の集中により、植生の荒廃等が懸念される国有林野において「グリーン・サポート・スタッフ（GSS）」による巡視やマナーの啓発活動、植生保護のための柵の整備等を実施
- 地域の関係者と連携して、松くい虫被害やナラ枯れ等の森林病虫害の拡大を防ぐための対策を実施

事例⑱ GSSによる多言語表記カードの配布

中部森林管理局中信森林管理署では、上高地における外国人観光客の増加を踏まえ、GSSによるパトロールに加え多言語によりマナーを呼びかけるカードを作成し、配布しました。



多言語表記カード配布の様子

事例⑲ 地域と連携した那須街道アカマツ林保全の取組

関東森林管理局塩那森林管理署では、那須街道アカマツ林を保全するため、松枯れ予防のための薬剤の地上散布や樹幹注入、被害木の伐倒駆除を行いました。また、関係者と協力して植樹等の保全活動を実施しました。



薬剤の地上散布の様子

鳥獣被害の防除

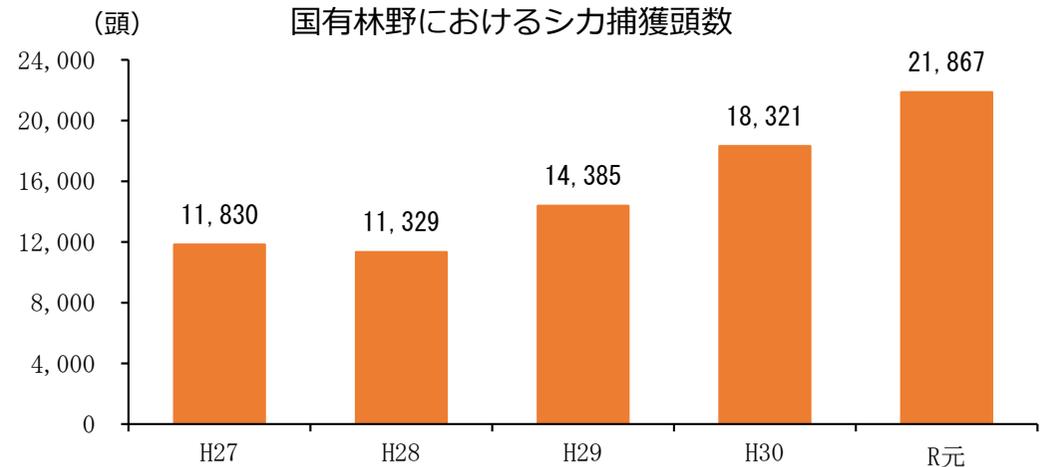
- シカなど野生鳥獣による被害を防止するため、地域の関係行政機関やNPO等と連携し、地域の特性に応じた、生息環境管理や個体群管理、防護柵設置等の有効な手段を組み合わせた防止対策を実施

事例⑳ 請負事業体と地元猟友会との連携によるシカ捕獲

中部森林管理局南信森林管理署では、請負事業体と猟友会の協力の下、国有林野内の工事箇所周辺に猟友会が捕獲わなを設置し、その見回り等を請負事業体が連携して行うシカ捕獲事業（ついで見回り・通報、ついで捕獲）に取り組みました。



現地確認の様子



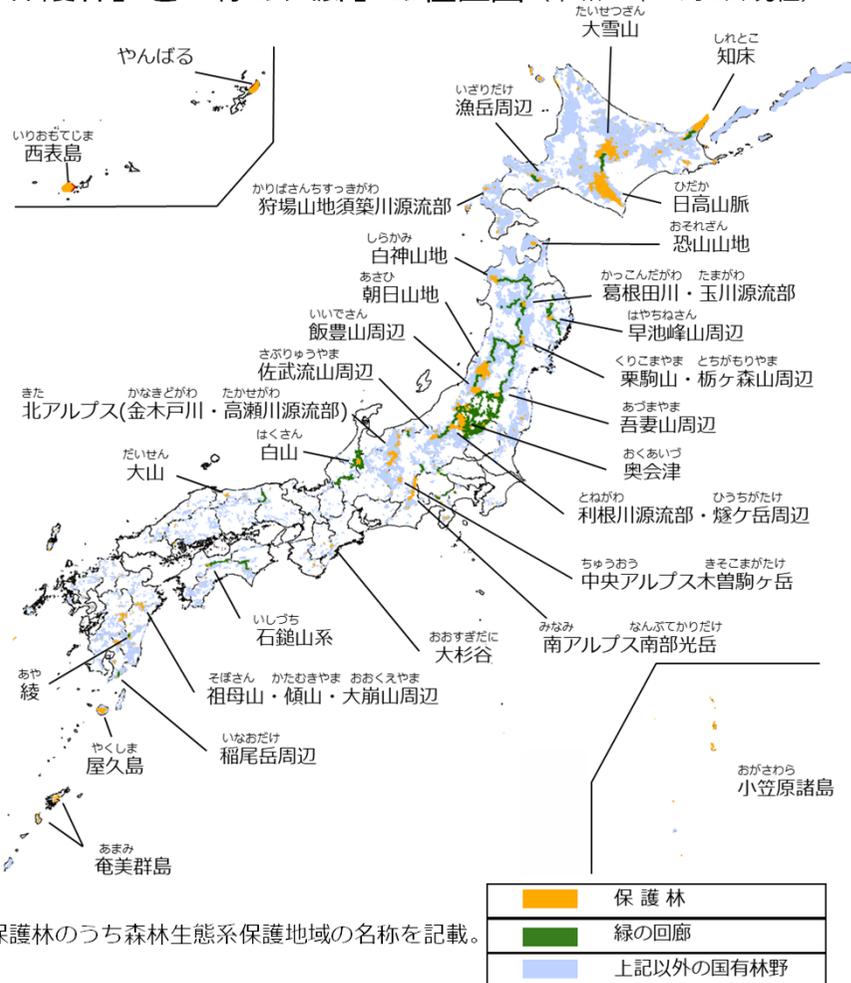
注：国有林野における有害鳥獣捕獲等（一般ハンターによる狩猟は含まない。）による捕獲頭数の合計（各年度末現在の値）。

「保護林」や「緑の回廊」の適切な保護・管理、希少な野生生物の保護を行いました。

「保護林」など優れた自然環境を有する森林の維持・保存

- 原生的な天然林等を有する森林を「保護林」に設定し、森林や動物等の状況変化の定期的なモニタリング調査の実施等により、適切な保護・管理を実施
- 保護林を中心とした森林生態系ネットワークの形成を図るため、民有林関係者等とも連携しつつ、野生動物の自由な移動の場として「緑の回廊」を設定
- 研究機関や地方公共団体等との連携を図りながら、国有林野内に生育・生息する希少な野生生物の保護を推進

「保護林」と「緑の回廊」の位置図（令和2年4月1日現在）



保護林の区分

区分	箇所数	面積 (万ha)	目的	代表的な保護林 (都道府県)
森林生態系保護地域	31	70.1	我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林を保護・管理	知床（北海道）、白神山地（青森県、秋田県）、小笠原諸島（東京都）、屋久島（鹿児島県）、奄美群島（鹿児島県）
生物群集保護林	96	23.7	地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理	木曽（長野県、岐阜県）、剣山（徳島県）、普賢岳（長崎県）
希少個体群保護林	534	4.0	希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を保護・管理	狩場山雪田植生（北海道）、千手ヶ原ミズナラ・ハルニレ（栃木県）、高野山コウヤマキ（和歌山県）
合計	661	97.8		

注：令和2年4月現在の数値である。

事例⑳ 希少な野生生物保護のための取組

九州森林管理局鹿児島森林管理署では、徳之島中部の国有林野において、希少な野生生物の保護のため、地元の関係者と協定を締結し、林道にゲートを設置して林道の通行を教育・研究目的などの場合やガイド付きのツアーで入林する場合に限定し希少な野生生物の保護に取り組みました。



エコツアーガイドの様子
（写真提供：NPO法人徳之島虹の会）

国有林材の安定供給に向け、民有林との連携に努めつつ、432万m³の木材（丸太換算）を供給しました。

国有林材の安定供給と需要の拡大

- 地域における木材安定供給体制の構築等を図るため、木材を持続的・計画的に供給
- 需要拡大や加工・流通の合理化に取り組む工場等と協定を締結する「システム販売」を推進
- 民有林からの供給が期待しにくい樹種等の計画的な供給を実施
- 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ国有林材供給調整検討委員会を開催し立木販売の搬出期間の延長を実施

事例② 高付加価値化に向けたシステム販売

北海道森林管理局では、付加価値の高い構造用材としての木材利用を推進するため、令和元年度から一定の径級（24cm以上）と品質を確保した大径材のシステム販売を実施しています。



供給されたカラマツの大径材

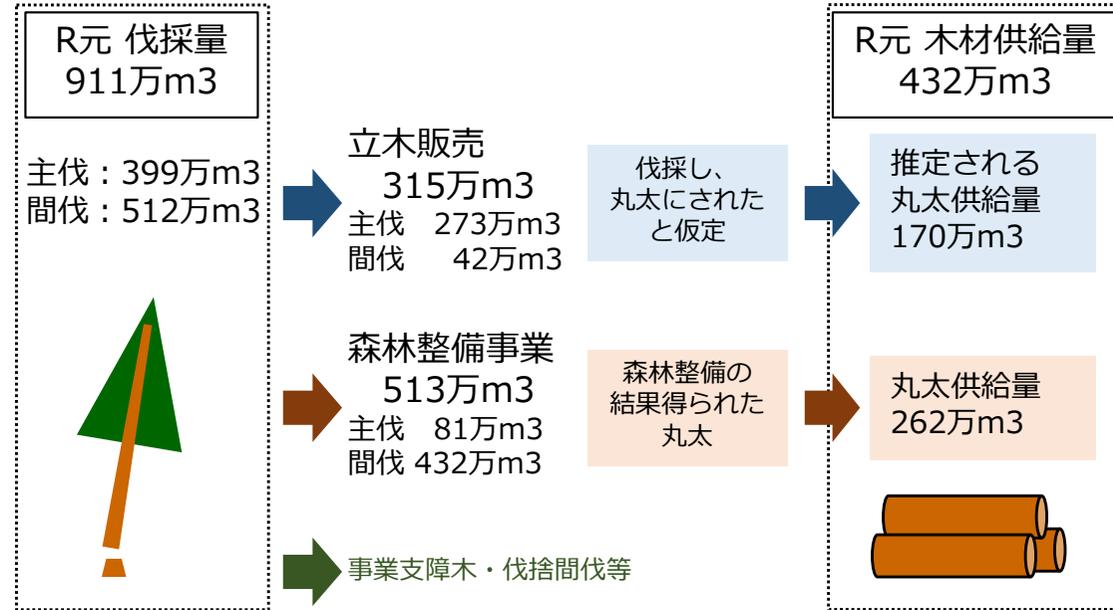
事例③ 民国連携によるシステム販売

関東森林管理局では、令和元年度、20の森林管理署において民国連携によるシステム販売を行いました。また、次年度の民国連携によるシステム販売に向け、民有林関係者へメリットの説明等を実施した結果、森林経営管理制度に基づき公表されている民間事業者を含む25者から申請がありました。



トラックへの積み込みの様子

伐採量、供給量、販売量の関係



令和元年度のシステム販売による木材供給量

187万m³ 国有林野事業における丸太販売量の72%

国有林材の供給調整

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、国有林材供給調整検討委員会を開催し、立木販売の搬出期間の延長を開始

地域振興に資する国有林野の貸付けやレクリエーションの森の活用等に取り組みました。

貸付け等、国有林野の活用の適切な推進

- 農林業をはじめとする地域産業の振興や住民福祉の向上、再生可能エネルギーの利用による発電等に寄与するため、地方公共団体等に対して国有林野の貸付けや売払い、共用林野の設定等を実施

事例⑳ 国有林野を利用した小水力発電所

中部森林管理局中信森林管理署では、国有林野内において小水力発電の取水施設の設置を許可し、稼働を始めました。



国有林内に設置された取水施設

国有林野の用途別貸付け等の状況
(令和元年度)

区分	面積 (ha)
農耕・採草放牧地	10,204
道路敷	14,354
電気・通信事業用地	17,020
ダム・堰堤敷	3,405
森林空間総合利用事業用地	9,058
その他	17,523
合計	71,564

国有林野の用途別売払い状況
(令和元年度)

区分	面積 (ha)
所管換・所属替	169
公用・公共事業用	24
産業振興用	0
その他	2
合計	194

注：1 売払いには、無償の所管換・所属替・譲与を含む。
2 計の不一致は、四捨五入による。

公衆の保健のための活用の推進

- 森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した国有林野を「レクリエーションの森」に設定
- 特に景観等の優れた「レクリエーションの森」を「日本美しい森 お薦め国有林」に選定し、インバウンド（訪日外国人旅行）推進に向けた情報発信等を実施

事例㉕ 訪日外国人旅行需要に向けた多言語看板の整備

四国森林管理局愛媛森林管理署では、訪日外国人観光客を含む登山者の安全性や利便性の向上を図るため、石鎚風景林の標識において、デザインの統一化と多言語表示の整備を実施しました。



多言語看板の様子

レクリエーションの森の現況及び利用者数

レクリエーションの森の種類	箇所数	面積 (千ha)	利用者数 (百万人)	代表的なレクリエーションの森(都道府県)
自然休養林	83	95	11	高尾山(東京)、赤沢(長野)、剣山(徳島)、屋久島(鹿児島)
自然観察教育林	92	24	14	白神山地・暗門の滝(青森)、ブナ平(福島)、金華山(岐阜)
風景林	170	87	74	えりも(北海道)、芦ノ湖(神奈川)、嵐山(京都)
森林スポーツ林	28	3	3	御池(福島)、滝越(長野)、扇ノ仙(鳥取)
野外スポーツ地域	167	50	17	天狗山(北海道)、裏磐梯デコ平(福島)、向坂山(宮崎)
風致探勝林	80	14	8	温身平(山形)、駒ヶ岳(長野)、虹ノ松原(佐賀)
合計	620	273	127	

注：1 箇所数及び面積は令和2年4月1日現在の数値であり、利用者数は令和元年度の参考値である。
2 計の不一致は、四捨五入による。

注：1 面積は、各年度期末現在の数値である。
2 貸付け等には、貸付け、使用許可・承認を含む。
3 計の不一致は、四捨五入による。

(7) 国有林野と民有林野の一体的な整備及び保全**(8) 国有林野の事業運営**

国有林野の公益的機能に悪影響を及ぼすおそれのある民有林野の一体的な整備や保全に取り組みました。コスト縮減等による計画的・効率的な管理経営に努め、令和元年度は194億円の債務返済を行いました。

民有林野との一体的な整備及び保全に向けた取組

- 国有林野に隣接・介在し、公益的機能に悪影響を及ぼすおそれのある民有林野について、「公益的機能維持増進協定制度」を活用
- 国有林野と民有林野の一体的な間伐や外来種の駆除等を実施

事例②⑥ 公益的機能維持増進協定に基づく森林整備

九州森林管理局では、平成29年度に北薩森林管理署管内の国有林野に隣接・介在する民有林所有者と公益的機能維持増進協定を締結し、国有林野と民有林野の間伐を一体的に実施しました。令和元年度には、間伐の効果を検証するための調査を実施しました。



公益的機能維持増進協定区域の様子



間伐後の林内の様子

公益的機能維持増進協定の締結状況

20箇所 595ha ※令和2年4月1日現在の状況。
このうち12協定は終了

計画的かつ効率的な事業の実行

- ブロック単位の7森林管理局、流域単位の98森林管理署等の下、国有林野の管理経営を実施
- 令和元年度は194億円の返済を行い、累積返済額は930億円
- 事業の効率的な実行のため、国有林GISや無人航空機を積極的に活用

事例②⑦ 無人航空機を用いた森林調査方法の検討

北海道森林管理局渡島森林管理署では、平成29年度から無人航空機で上空から撮影した写真をもとに樹木の本数を算出する手法に取り組んでいます。

令和元年度は、道外の三重県松阪農林事務所からの依頼を受け、無人航空機による上空からの写真撮影、本数算出手法についての講習会を実施しました。



講習会にて無人航空機を飛行する様子



上空からの写真

国有林野の管理経営をはじめ森林・林業施策全体の推進に貢献する人材育成に取り組みました。
また、地域資源でもある国有林野を活かした地域振興への貢献に取り組みました。

人材の育成

- 国有林野の管理経営をはじめ、民有林への指導やサポートなど森林・林業施策全体の推進に貢献する人材を育成
- 森林・林業に関する専門的かつ幅広い知識や技術等について、地方公共団体職員等との合同研修やOJTなどを実施

事例⑳ 木材安定供給（生産・販売）研修の実施

森林技術総合研修所では、木材を安定的に供給するために必要な素材生産及び販売の知識と技術を有し、木材供給事業の現場での確かな監督ができる人材の育成を目的として、木材安定供給研修を実施しています。

令和元年度の研修では、国有林野事業における木材販売の位置づけ、安定供給の取組等についての講義のほか、国有林野事業の現場やプレカット工場での実習・見学を行いました。



作業システムの現地実習の様子



プレカット工場の見学の様子

地域振興への寄与

- 国有林野の重要な使命である地域振興への寄与のため地域産業の振興、住民福祉の向上等に貢献する取組を推進

事例㉑ らちほま 埴浜防災緑地用地への国有林野の提供

関東森林管理局磐城森林管理署では、埴浜防災緑地の整備に伴い必要となる用地として、国有林野の提供を行いました。

この緑地では、平成26年に福島県との間で無償貸付契約が締結され、地元小学生がどんぐりを集めて、苗木の育成・植栽を行う「どんぐりプロジェクト」が実施されるなど、地域活性化に貢献してきました。

こうした中で、令和2年2月に売買契約が締結され、国有林野の提供に至っています。



防災緑地の様子

台風15,19号災害からの復旧に向けた支援等については、トピックス②（P.2）をご参照下さい。

東日本大震災から復旧・復興に向けて、海岸防災林の復旧再生や林業再生のための実証事業等に取り組みました。

東日本大震災からの復旧・復興への貢献

- 東日本大震災からの復旧・復興に向け、地域に密着した国の出先機関として地域の期待に応えた取組を実施
- 生物多様性の保全にも配慮した海岸防災林の復旧・再生を実施
- 放射性物質による森林等の汚染への対応に向けて林業再生のための実証事業を実施

事例③⑩ 海岸防災林の復旧・再生

東北森林管理局では、東日本大震災で津波により被災した海岸防災林を復旧・再生するため、民間ボランティアの協力を得て、クロマツや広葉樹の苗木の植栽を行っています。平成24年度から平成30年度までの間に、企業やNPO等延べ70団体と約26haの「社会貢献の森」の協定を締結し、植栽や下刈等の保育活動を実施してきました。

令和元年度は、11団体がクロマツ6,080本、広葉樹820本の植栽と下刈等の保育作業を実施しました。



ボランティアによる植樹の様子



植栽された苗木の様子

事例③⑪ 避難指示解除区域における実証事業

関東森林管理局では、原発事故に伴う放射性物質の影響が残る避難指示解除区域内の国有林野において、森林施業の実施に当たり、伐採跡地へのチップの被覆や立木樹皮の放射性物質濃度の測定方法の検証等を行っています。

令和元年度は、福島県内の避難指示解除区域内の国有林野において、施業による空間線量率の変化の調査とともに、剥皮方法等の検討や地域における木材供給の可能性等についての調査を行いました。



間伐の実施箇所の様子



実証事業箇所のチップ被覆の様子